■科　目	**歯科保健指導Ⅱ**	■講師名	佐藤　潤子

Ⅰ部２学年　　前期　　１５コマ（1ｺﾏ90分授業）　　総時間30時間　　講義2単位

■学修概要

口腔内健康の維持増進が、健康で質の高い生活を営む上での基礎的かつ重要な役割を果たしていることから、ライフステージごとの特性を踏まえつつ、生涯を通した切れ目ない歯科保健指導を行えるよう、指導・助言・管理の方法を修得する。

■授業目的、到達目標

歯科保健指導および歯科衛生教育の基礎的技法を習得し、臨床および公衆衛生、または年齢対象別等さまざまな状況に十分対応し得る能力を培い、実践できるようにする。

■授業方法

講義、グループワーク、グループディスカッション、発表

■教科書（書籍名・出版社）

歯科衛生学シリーズ／歯科予防処置論・歯科保健指導論　　医歯薬出版
歯科衛生学シリーズ／小児歯科学　　医歯薬出版
歯科衛生学シリーズ／高齢者歯科学　　医歯薬出版

■成績評価・講義上の注意

定期試験や授業態度の他、以下項目による総合的な評価を行う
グループワーク、グループディスカッション：グループとしての行動の内容、協力度、達成度
発表：準医療従事者としての身だしなみや態度、発表の技術、発声
レポート等の提出物：提出期限、与えられた課題に対する内容、自学自習のクオリティ

■実務経験

歯科衛生士として２０年以上、臨床及び教育の場で患者さんや学生の行動変容や教育に携わっている。

■授業計画（講義の流れ）

1	ライフステージにおける歯科衛生介入（妊産婦期）
2	
3	ライフステージにおける歯科衛生介入（乳児期）
4	
5	ライフステージにおける歯科衛生介入（幼児期）
6	
7	ライフステージにおける歯科衛生介入（学齢期）
8	
9	ライフステージにおける歯科衛生介入（青年期）
10	
11	ライフステージにおける歯科衛生介入（成人期）
12	
13	ライフステージにおける歯科衛生介入（老年期）
14	
15	定期試験、解答解説